



つよい子

余市町立大川小学校 学校だより
第 2 号
令和8年4月 28 日発行

【令和8年度重点目標】・自分の思いを語り、相手の考えを認め、自己調整しながら主体的に学ぶ子どもの育成
・『心・環境・関係』を整え、自ら考えて行動する子どもの育成

みんながしあわせに『学び、通わせ、働く』あたたかな学校

～ 「3つの整え」を基盤として～

校長 大山 敏広

◆桜が美しく咲き誇る季節となりました。新しい年度がスタートして約一ヶ月。校内には、子どもたちの元気ある声が響き、力強い毎日を感じています。

◆事故を防ぎ、安全を確保する観点から、今一度朝の時間の在り方を見つめ直そうと、新年度のスタートにあたり「**登下校時の安全確保について**」の文書を配付いたしました。その呼びかけに真摯に伝えてくださったご家庭の協力、そして何より「新しい一年を頑張るぞ!」という子どもたちの意欲が重なり、この4月は時刻を守って登校する子が、たいへん多くなりました。

◆朝の「ゆとり」は、そのまま一日の「心のゆとり」に繋がります。当たり前前を当たり前前、そして、時間を大切にしようとする子どもたちの姿勢は、実に素晴らしいスタートだと感じています。

◆朝の1年生教室には心温まる光景が広がっています。たくさんの6年生が1年生のサポートをしています。入学後の数日間は、互いに緊張気味でしたが、今ではすっかり緊張もほぐれ、6年生が1年生にそっと寄り添い、背中や肩に優しく手を添えて安心感を与えています。中には、6年生にギュッと抱き着く1年生の姿もあります。心温まる、たいへん微笑ましい光景です。



◆1年生と6年生を見比べると、その体格も、振る舞いも、心の器も、驚くほどに違います。小学校の6年間という時間は、これほどまでに人を大きく、優しく、頼もしく成長させるものなのかと、改めて教育の重みを実感させられます。

◆授業の様子に目を向けると、どの教室からも前向きな熱気が伝わってきます。1年生の教室からは、空気を震わせるほどのはじける返事や挨拶。高学年の教室では、教師の話聞くだけでなく、自分たちで課題を解決するために相談したり、端末を使いこなしたりして学びを深める姿。早速、学年の段階に応じた「**学びの姿**」が見られるようになっていきます。

◆大川小学校では、学びの土台として、今年度は「3つの整え」を重視してまいります。

「**心**の整え」…言葉や姿勢、そして時間を大切にすること。

「**環境**の整え」…整理整頓や清掃で、自らの場を清めること。

「**関係**の整え」…挨拶やマナーを大切に、相手を敬い、思いやること。

「みんながしあわせに『**学び、通わせ、働く**』あたたかな学校」を目指し、組織一体となって教育活動を展開してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き温かなご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。